

GUARDIANWALL V5.3.15 リリースノート

GUARDIANWALL V5.3.11 から GUARDIANWALL V5.3.15 において、以下の修正変更を行いました。

1. 修正

(1) テキスト抽出ライブラリの修正

メール添付ファイルのテキスト抽出処理に使用しているライブラリが、[Adobe Acrobat8 の PDFMaker] で作成された PDF ファイルを処理した際に、次の現象が発生する場合があります、テキスト抽出ライブラリを修正致しました。

- 1) CPU が高負荷となる。
- 2) システムテンポラリ領域に大きな一時ファイルが生成される。
- 3) システムが高負荷状態などで、一定時間内にテキスト抽出処理が完了せず抽出処理を中断したときに一時ファイルの削除が行われない。

キーワード検査を行っていない場合は、上記現象は発生致しません。

本修正は、上記現象を回避するものであり、Adobe Acrobat8 の PDFMaker で作成された PDF ファイルのテキスト抽出に対応した (= キーワード検査が可能になった) ということではありません。

2. 機能改善

(1) テキスト抽出プロセスの一時ファイル対策

テキスト抽出時の一時ファイルの削除を以下のタイミングで行うようにしました。

- 1) テキスト抽出処理終了時
- 2) 1時間ごとに実行される不要ファイル削除処理
- 3) 毎日一回実行されるスケジュール

以上